

聖霊降臨節第 19 主日礼拝
2021 年 9 月 26 日 10:30
日本基督教団 代々木上原教会 礼拝堂

司式: 中村吉基牧師
奏楽: ヒムプレーヤー

前 奏

招 詞 ハバクク書 2 章 20 節

主はその聖なる神殿におられる。全地よ、御前に沈黙せよ。

讚美歌 17 番(聖なる主の美しさと)

聖書朗読

旧約聖書 民数記 11 章 25～29 節

25 主は雲のうちにあって降り、モーセに語られ、モーセに授けられている霊の一部を取って、七十人の長老にも授けられた。霊が彼らの上にとどまると、彼らは預言状態になったが、続くことはなかった。26 宿営に残っていた人が二人あった。一人はエルダド、もう一人はメダドといい、長老の中に加えられていたが、まだ幕屋には出かけていなかった。霊が彼らの上にもとどまり、彼らは宿営で預言状態になった。27 一人の若者がモーセのもとに走って行き、エルダドとメダドが宿営で預言状態になっていると告げた。28 若いころからモーセの従者であったヌンの子ヨシュアは、「わが主モーセよ、やめさせてください」と言った。29 モーセは彼に言った。「あなたはわたしのためを思ってねたお心を起こしているのか。わたしは、主が霊を授けて、主の民すべてが預言者になればよいと切望しているのだ。」

新約聖書 マルコによる福音書 9 章 38～48 節

38 ヨハネがイエスに言った。「先生、お名前を使って悪霊を追い出している者を見ましたが、わたしたちに従わないので、やめさせようと思いました。」39 イエスは言われた。「やめさせてはならない。わたしの名を使って奇跡を行い、そのすぐ後で、わたしの悪口は言えまい。40 わたしたちに逆らわない者は、わたしたちの味方なのである。41 はっきり言うておく。キリストの弟子だという理由で、あなたがたに一杯の水を飲ませてくれる者は、必ずその報いを受ける。」42 「わたしを信じるこれらの小さな者の一人をつまづかせる者は、大きな石臼を首に懸けられて、海に投げ込まれてしまう方がはるかによい。43 もし片方の手があなたをつまづかせるなら、切り捨ててしまいなさい。両手がそろったまま地獄の消えない火の中に落ちるよりは、片手になっても命にあずかる方がよい。」

44 <底本に節が欠けている個所の異本による訳文>

地獄では蛆が尽きることも、火が消えることもない。†

45 もし片方の足があなたをつまずかせるなら、切り捨ててしまいなさい。両足がそろったままで地獄に投げ込まれるよりは、片足になっても命にあずかる方がよい。

46 <底本に節が欠けている個所の異本による訳文>

地獄では蛆が尽きることも、火が消えることもない。†

47 もし片方の目があなたをつまずかせるなら、えぐり出しなさい。両方の目がそろったまま地獄に投げ込まれるよりは、一つの目になっても神の国に入る方がよい。

48 地獄では蛆が尽きることも、火が消えることもない。

祈 禱

説 教「小さな者」

中村吉基牧師

祈 禱

讃美歌 510 番(主よ、終わりまで)

献 金

(礼拝当番による祈りに続いて「主の祈り」をささげましょう。)

天にまします我らの父よ。願わくは御名(みな)をあげさせたまえ。御国(みくに)を来たらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も 与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦(ゆる)すごとく、我らの罪をも赦したまえ。我らを試(こころ)みにあわせず、悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは、限りなく汝(なんじ)のものなればなり。アーメン。

祝 禱<派遣と祝福>(ご無理のない方のご起立ください)

後 奏

報 告

聖なる主の美しさと

Worship the Lord in the beauty of holiness
詞：John S. B. Monsell, 1811-1875

MONSELL
曲：William F. Sherwin, 1826-1888

1 せ い な る 主 の う つ く し さ と そ の さ
2 お も に す べ て 主 が か わ っ て お っ て く
3 こ こ ろ つ く て し て 主 に つ か え よ う。 と る に
4 や み を か え て ひ か り と す る 主 の め

か え を あ お い で、 ま ご こ ろ も て み ま え た
▶ だ さ る あ う れ し さ。 な や み お お い 世 の た
▶ た ら ぬ わ た し の さ。 あ い の わ お ざ も、 身 も こ
▶ ぐ み の と う と さ。 の ぞ み は わ き、 お そ

に だ ち み 名 を た た え、 あ が め よ う。
▶ び じ も み ち び た く 主 の あ み め ぐ み。 ア - メ ン。
▶ こ ろ も み 主 は う け い れ、 よ ろ こ ぶ。
▶ は き え、 む ね に み ち る よ ろ こ び。

- 1 聖なる主の美しさと
その栄えを仰いで、
まごころもてみ前に立ち
み名をたたえ、あがめよう。
- 2 重荷すべて主が代わって
負ってくださるうれしさ。
悩み多い世の旅路も
みちびく主のみ恵み。

- 3 心つくし主に仕えよう。
とるに足らぬ私の
愛のわざも、身も心も
主は受け入れ、よろこぶ。
- 4 闇をかえて光とする
主の恵みの貴さ。
望みは湧き、おそれは消え、
胸に満ちるよろこび。

主よ、終わりまで

O Jesus, I have promised
 詞 : John E. Bode, 1816-1874

ANGEL'S STORY
 曲 : Arthur H. Mann, 1850-1929

1 主よ、おわりまでしもべとして
 2 この世のさかえ目をまどわし、
 3 しずかにきよいみこえにより
 4 主はやくそくをかたくまもり、

あなたにつかえし たがいます。
 ▶ ゆうわくのこえみみにみちて、▶
 ▶ おかたりください、主よ、みことば。
 ▶ おわりの日までみちびかれる。▶

世のたたかいははげしくても、
 ▶ てきはそとにほはうちにもある。▶
 ▶ こころのあらしふきあれても、
 ▶ わたしはこころにちかいたて、▶

主がみかたならおそれはない。
 おまもりください、主よ、わたしを。
 きかせてください、主よ、みこえを。
 主よ、おわりまででしたがいま

(♩=96)

1 ^{しゅ}主よ、^お終わりまで ^{しも}べとして
 あなたに^{つか}仕え したがいます。
^よ世のたたかいは ^{はげ}しくても、
^{しゅ}主が^{みかた}味方なら ^{おそ}恐れはない。

2 この^よ世の^さかえ ^め目を^{まど}惑わし、
^{ゆう}誘惑の^{こゑ}声 ^{みみ}耳に^み満ちて、
^{てき}敵は^{そと}外にも ^{うち}内にもある。
^{まも}お守り^{ください}、^{しゅ}主よ、^{わたし}私を。

3 ^{しず}静かに^ききよい ^{こゑ}み声により
^{かた}お語り^{ください}、^{しゅ}主よ、^みみことば。
^{こころ}心の^ああらし ^ふ吹きあれても、
^き聞かせて^{ください}、^{しゅ}主よ、^{こゑ}み声を。

4 ^{しゅ}主は^{やくそく}約束を ^{まも}かたく守り、
^お終わりの^ひ日まで ^{みち}びかれる。
^{わたし}私はここに ^{ちか}誓いを^た立て、
^{しゅ}主よ、^お終わりまで したがいます。

ア-メン。

ヨハ12:26 王上19:12 ルカ9:57 Iペト2:21 ロマ8:31